



よって、ICS 治療とともに原因アレルゲンを同定してその除去・回避をすることも重要です。

#### アレルギー性喘息の感作アレルゲン

1. 対象	
338 名 (16-69 歳: 軽症43% 中等症42% 重症 15%)	
2. 方法	イムノキャップ法にて測定、クラス 1 以上を陽性と判定とした。
3. 結果/各アレルゲンの感作率	
HD 1	71.3%
D 1	71.0%
D 2	71.6%
スギ	59.8%
ヒノキ	26.0%
ハンノキ	11.5%
カモガヤ	21.6%
ブタクサ	20.4%
ヨモギ	19.5%
ネコ皮屑	31.1%
イヌ皮屑	28.7%
家兎上皮	15.4%
ハムスター上皮	8.9%
ガ	50.0%
ゴキブリ	26.6%
ユスリカ	23.4%
カンジタ	22.8%
アスペルギルス	16.6%
アルテルナリア	9.5%
クラドスポリウム	6.8%

足立満他. アレルギー・免疫2006; 13: 548. から

#### Q&A

Q /ネコ、イヌ、ゴキブリなどで喘息を起こした患者さんを診たことがありません？

A /実際に原因アレルゲンに気付いている患者さんはほとんどいないといわれていますので、例えば、特異的 IgE 検査のアレルゲンセットによって感作アレルゲンを確認します。  
チリダニでさえ生活環境におけるアレルゲン量では喘息発作を起こすことは、ほとんどありません。しかし、これらアレルゲンは気道炎症を惹起し、繰り返す炎症により気道過敏性を亢進させます。  
喘息発作は、気道過敏性が亢進している状態で、ライノウイルスなど刺激で発症すると言われています。過敏性亢進だけでは自覚症状はほとんどないと考えられます。

Q /カビ類の感作率はそれほど高くないのに重要ですか？

A /喘息の重症例では真菌に対する感作率が高くなり、真菌感作と喘息の重症度とは関連が認められます。  
主にアルテルナリア、クラドスポリウムなど屋外真菌感作喘息は、カビ以外の吸入アレルゲンに5種以上感作され、総 IgE も高く、救急外来受診回数が多かったと報告されています。  
また、アスペルギルスなどの屋内真菌またはトリコフィトンなどの常在菌感作は、コントロール不良の喘息例で認められ、他の吸入アレルゲン感作を認められないと言われています。

Q /花粉は喘息を起こさないのでは？

A /花粉の粒子は直径が10ミクロン以上で、ほとんどが鼻腔に沈着するので気管支まで到達しないため喘息を起こすことはほとんどありませんが、喘息の60-70%はアレルギー性鼻炎を合併しているためこれらの原因の検索も必要です。  
また、花粉飛散期には、とくに軽い雨の翌日の晴天には微細化した花粉も飛散し、喘息例で気道過敏性が亢進するとの報告もあります。

Q /原因がわかっても治療法は同じでは？

A /はい。ICS を中心として気道の炎症を抑えます。しかし、原因アレルゲンは気道の炎症を持続的に起こします。したがって、原因アレルゲンを除去・回避しなければ ICS の効果も十分期待できません。  
また、喘息発症の初期では、患者さんは現在の環境で喘息を発症したので、少なくとも現状を変えなければならぬと考えら

れます。  
さらに、長期的には、ICSの吸入量を増やさなければならなくな  
ります。

Q / 具体的に原因アレルゲンを診断するには？  
A / 当然、IgE抗体価が高い吸入アレルゲンが喘息発症に関連する  
と考えられますので、IgE抗体価が高いアレルゲンから除去・  
回避するのが有効と考えられます。

---

3 KMLインフォメーション 3月～5月分のお知らせ

---

前回メールニュースを配信しました後から現在までに発行されま  
した「KMLインフォメーション」についてお知らせ致します。

各インフォメーションにつきましては、医院様へ随時お届けして  
おりますが、ご確認などに活用していただければ幸いです。

2020年3月13日 検査内容変更のお知らせ  
<https://www.kml-net.co.jp/information/pdf/2020-0313.pdf>

2020年3月24日 LD・ALP（IFCC法）新規受託開始のお知らせ  
<https://www.kml-net.co.jp/information/pdf/2020-0324.pdf>

2020年3月27日 検体検査実施料新規掲載のお知らせ  
<https://www.kml-net.co.jp/information/pdf/2020-0327.pdf>

2020年3月30日 検査内容変更のお知らせ  
<https://www.kml-net.co.jp/information/pdf/2020-0330.pdf>

2020年4月10日 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態  
宣言の影響について  
<https://www.kml-net.co.jp/information/pdf/2020-0410.pdf>

■ □ = = = = =



最後までお読みいただきまして有り難う御座いました。

編集／発行 <https://www.kml-net.co.jp/>  
株式会社 京浜予防医学研究所  
〒216-0001 神奈川県川崎市宮前区野川 1432-1

= = = = = □ ■